



Title	法学会講演会
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2006, 55(6), p. 284-284
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/54898">https://hdl.handle.net/11094/54898</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 雑 録

## 法学会講演会

日時 平成一七年二月一日(木) 午後一時より二時半  
場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室  
講演 ベアタ シマンスカ研究員(グローニンゲン大学)

「法の受容の成功例——中央東ヨーロッパでのEU法  
継受の研究をもとに——」

通訳 長田真里助教授

日時 平成一七年二月一日(木) 午後三時より五時  
場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室  
講演 クリストイーン・ノワヴィル教授  
(フランス国立科学研究センター)

「科学、決定、行動」

予防原則についての三側面からの考察」

通訳 松田岳士助教授

日時 平成一八年一月五日(木) 午前一〇時より一時半  
場所 法経大学院総合研究棟三階L2教室  
講演 カトウリース・フィリップ助教授(プザンソン大学)

「フランス家族法の改正」  
通訳 松川正毅教授

日時 平成一八年一月三〇日(月) 午後二時より  
場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室  
講演 ヘルマン・ブローリング教授(グローニンゲン大学)

「EUにおける法曹の新しい職域について——オランダ  
の場合」

通訳 福井康太助教授

日時 平成一八年二月二日(木) 午後三時より  
場所 法経大学院総合研究棟四階大会議室  
講演 朴 洪圭教授(嶺南大学校)

「韓国における法曹の新しい職域について」